

# 諏訪の池の 自然ガイド

雲仙あちこちガイドシリーズ④



● ツワブキ

## 自然公園でのルール

- ① 植物や動物、鳥、昆虫などとはとらずに観察する。
- ② 自然の美しさを保つため、ゴミは必ず持ち帰る。
- ③ 歩道、広場など定められた場所以外に入らない。
- ④ 大声をあげたり、ラジオなど鳴らしながら歩かない。

# 諏訪の池の 散策ガイド

雲仙あちこちガイドシリーズ④



● カワセミ

## 自然保護憲章

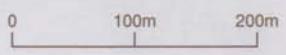
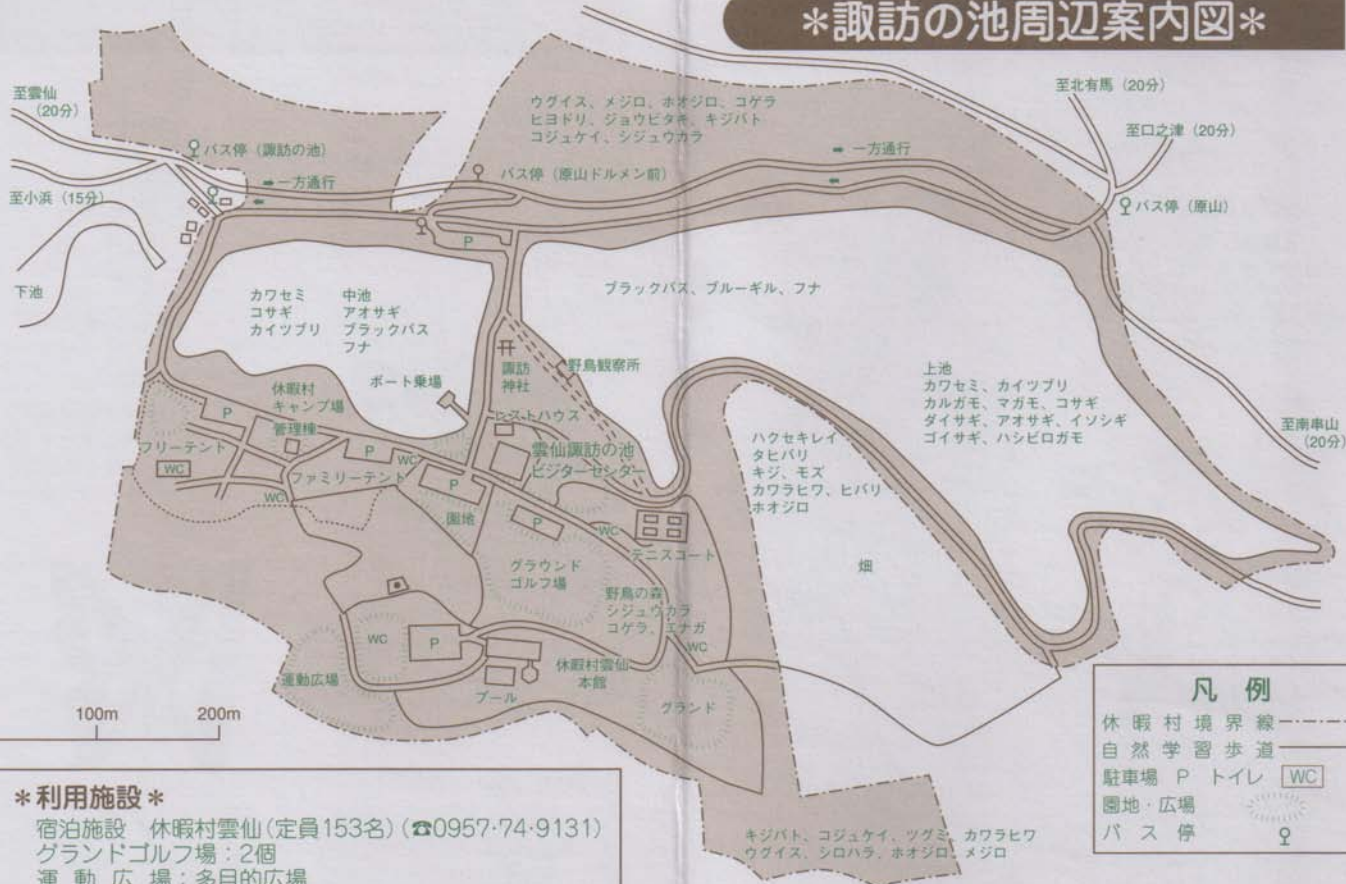
自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう！  
自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしましょう！  
美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう！

監修・発行 / 雲仙お山の情報館運営協議会

<http://www.dango.ne.jp/unzencv/>

〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙320 ☎(0957) 73-3636

# \*諏訪の池周辺案内図\*

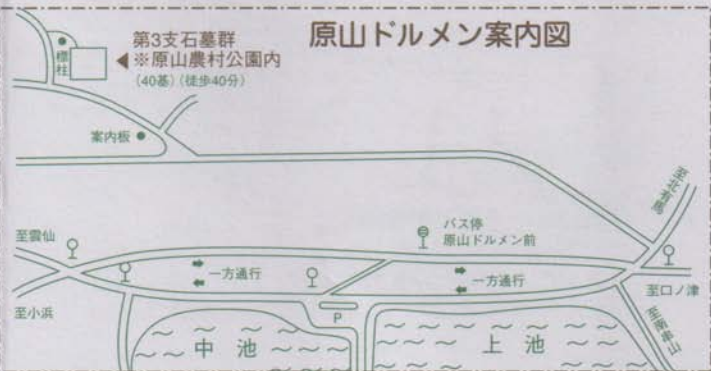


### 凡例

- 休暇村境界線
- 自然学習歩道
- 駐車場 P トイレ WC
- 園地・広場
- バス停 ♀

## \*利用施設\*

宿泊施設 休暇村雲仙(定員153名) (☎0957・74・9131)  
 グラウンドゴルフ場: 2個  
 運動広場: 多目的広場  
 テニスコート: 全天候型4面  
 プール: 25m・子供用プール  
 サイクリング: 中池一周  
 ボート(中池): ペダルボート  
 キャンプ場: 定員600名  
 開設期間 通年(ただし、ファミリーテントのみ4月下旬~10月下旬)  
 利用料金 ●管理費 1人300円、日帰り150円  
 ●ファミリーテント(5人用) 1張5,000円  
 ●持ち込みテント 1張1,000円  
 付帯施設 炊事棟、トイレ、ファイヤーサークル  
 その他 食器、炊事道具を貸出します。  
 ●雲仙諏訪の池ビクターセンター(☎0957・76・5010)  
 毎週水曜日 休館  
<http://www.h2.dion.ne.jp/~suwavc/index.html>





## \*諏訪の池\*

諏訪の池は雲仙温泉街から12km、標高200mの位置にあり上池、中池、下池の3つに分れています。水面の面積は上池が2,350ヘクタール、中池は847ヘクタール、下池は181ヘクタールあります。

この池は水田の干害対策用の古い溜池で、上池は1616年島原城主松倉氏の命により築堤されたと言われています。上池のかたわらにある諏訪神社は、長崎くunchで有名な長崎諏訪神社の本社だとも言われています。明治末期から昭和初期まで、中池を一周する乗馬大会が毎年4月と10月に開催されていました。

また、昭和の初め頃、雲仙の白雲の池からブラックバスが移され、現在ではフィッシングの対象魚として釣り人が訪れています。

冬が近づくと、多くの水鳥が群れて飛来し水辺でバードウォッチングを手軽にでき、初心者でも楽しむことができます。

### ● 諏訪の池の魚 ●

#### ● ブラックバス

北米産のサンフィッシュ科の魚で小魚や甲殻類、両生類、昆虫などを食べています。大きさは最大で60cmにもなりますが、この池では40cm前後が平均サイズです。スズキに似た魚体で体側に黒い模様があります。



その他にもブルーギル、コイ、フナなどが生息しています。諏訪の池の自然情報は、雲仙諏訪の池ビジターセンターへお問い合わせ下さい。

諏訪の池は水辺の鳥をはじめ、豊かな自然が大切に保護されています。

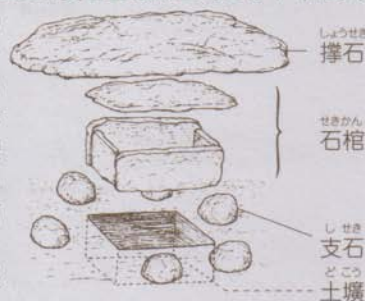
マナーを守って散策や釣りを楽しみましょう。

「来た時よりも美しく！」

## \*原山(はらやま)ドルメン\*

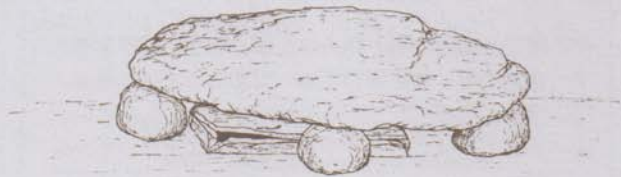
諏訪の池周辺では、縄文人が使用していた黒耀石のかけらや、土器片をたくさん見つけることができます。また、池の東1km程の所に原山ドルメン(原山支石墓群)と呼ばれる縄文時代晩期(2500年ほど前)の集団墓地(第二支石墓群に6基、第三支石墓群に40基)があり、休暇村の本館近くには巨石信仰の遺跡と思われるものが見られます。

ドルメン(支石墓)は、支えの石「支石」とそれによって支えられている巨石「撐石」からなる上部構造と、その下に構築される下部構造からなり、下部構造の違いにより三つに分けられます。この支石墓はほとんどが、単に穴



を掘って埋葬したものを「土壌墓」と、平石を箱形に組んだものを「石棺墓」ですが、カメ形の縄文土器に人体を埋葬した「カメ棺墓」も発見されています。石棺の大きさは長さが1m、幅50cm、深さ60cm程のものが普通で極端な屈葬が行われていたと考えられています。支石墓の約半数には副葬品として撐石の下に縄文晩期の土器が置かれており、粉痕のついた土器も発見されています。縄文晩期のこの地域にすでに稲作を行い布を織る高い文化を持った「原山人」の集落があったと考えられています。

原山ドルメンは、40基以上の支石墓が完在していた遺跡として我が国唯一のものであり、墓の形式から朝鮮半島と密接な交流が行われていたことがうかがわれ、縄文時代から弥生時代への転換期の動態を知るうえで重要な遺跡として国指定の史跡となっています。



ドルメン(支石墓)

## \*諏訪の池の野鳥\*

この地域で見られる野鳥は、カモ類、サギ類、カワセミ、キセキレイなどの水鳥や水辺の鳥。カラ類、コゲラ、コジュケイ、キジバトなどの林を好む鳥。キジ、ヒバリ、など農耕地の開けた土地を好む鳥とバラエティに富んでいます。



◀カワラヒワ

雌雄ほぼ同色のスズメ大の留鳥で全体に緑褐色、翼に飛行中にも目立つ黄色斑があります。冬期にはよく群をなしてキリリコロロと鳴きながら飛びまわります。

ジョウビタキ ▶

スズメ大の冬鳥。翼の白色大斑から「紋付き」とも呼ばれ、しきりにおじぎをし、尾を振ります。雄は胸と腹が赤褐色、頭が銀白色、顔と翼が黒。雌は全体が赤みを帯びた灰褐色です。



▶ツグミ

ムクドリ大で雌雄同色の冬鳥。上面は褐色で頭部の方が暗色になる。盾斑と喉が白、胸から下は白地に黒の不規則な縦斑があります。開けた場所によく餌を探ります。

キジ▶

ニワトリ大で尾が長く、雌雄で著しく色や姿が違います。雄は特に尾が長く、耳状の冠羽があり、背が褐色、腰と雨覆が灰色で、他の部分は金属光沢のある緑黒色。雌は全体が褐色です。



▶ヒバリ

スズメよりかなり大きな茶褐色の鳥。茶と黒の冠羽を持ち、時々逆立てます。池の南の農耕地に特に多く、春早くから地上や空中高く登ってさえずります。

カイツブリ(冬羽)▶

カモ類よりずっと小型の潜水が得意な水鳥です。体は丸く尾が短く、上面は黒褐色、腹部は淡褐色。夏には頬から額にかけて赤褐色になります。



▶カルガモ

冬鳥として10月頃から渡来する大型のカモ。雌雄同色で全体に茶褐色で、顔と頸が淡色で、黒い過眼線があり、くちばしの先端の黄色が目立ちます。



イソシギ▶

スズメより大きく、頭から背が暗緑褐色、腹が白い小型のシギです。冬、尾を上下に振り池岸を歩き、翼を小刻みにはばたき水面近くを平行に飛びます。



▶コサギ(夏羽)

白サギの中では最も小型です。くちばしが黒く、足の指の黄色が他のサギとの鑑別点です。繁殖期には2本の冠羽と、背、腰の飾り羽が伸びます。

●カワセミ(裏面表紙参照)

スズメ大でくちばしが大きく、胸から腹が栗色で、背面の光沢のある青緑色が美しい鳥。水中にダイブして小魚を捕えます。水面上を平行に飛びながらツィーと細い声で鳴きます。





## \*諏訪の池周辺の昆虫\*

### クマゼミ

日本産セミ類中最大種で、体長は4cm以上もあります。東京以西に分布し、ジャンジャン、ワシワシなどの鳴声からついた地方名があります。



### ツマグロヒョウモン

翅に多数の黒点が特徴的なチョウです。特にメスはカバマダラに擬態しており、前翅の先が紫色を帯びた黒色で、その中に白帯があるのが特徴です。

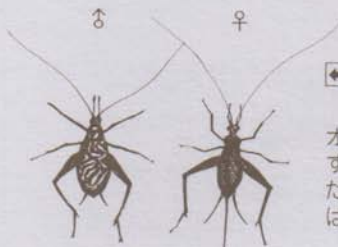
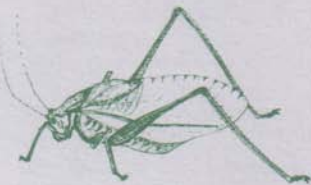
### アオシアゲハ

黒地に青い帯をもつアゲハチョウ。盛夏に地上で水を吸っている蝶の大半が本種です。幼虫の食草はクスノキやタブノキです。



### クツワムシ

体長5cm程のキリギリスの仲間。オスは夜、前羽の付根にある発音器官を使ってガチャガチャと鳴き、メスを呼びます。8月頃から池周辺の草むらで見られます。



### スズムシ

体長2cm程の有名な秋の鳴く虫。オスは8月中旬から夜、前羽をこすり合わせて美しい音色で鳴きます。たくさん飼っている時と、野外では鳴き方が違います。

## \*諏訪の池周辺の植物\*

### アオモシ

3月中・下旬に葉に先立って浅黄色の花を咲かせる高さ5m程の落葉樹で沖縄西九州に特有な植物です。雌雄異株ですが、雄株の花(花序)の方が大きく、見ごたえがあります。



### ヤマモモ

革質の葉を枝先に多くつけ、こんもりとした樹形の常緑高木です。雌雄異株で雌株には6月頃、表面に多汁質の突起が密生した暗赤色の球形の実がなり、熟すと甘酸っぱく食べられます。



### カラスウリ

ウリの仲間をつる性の多年草です。花は白色で5裂し、先が細かく切れ垂れ下り、夏の夜開きます。雌雄異株で秋、朱赤色のだ円形をした実をつけます。



### シャガ

4月に池の近くの林の中にオレンジ色の斑点のある白紫色の花を咲かせます。高さは50cm程でアヤメの仲間の多年草です。地中を浅く走る根茎で繁殖します。



### ツワブキ (表紙参照)

フキに似た形の光沢のある厚い葉が特徴的なキクの仲間の多年草です。秋から初冬にかけて高さ50cm程の花茎の先に黄色い花を数個ずつ咲かせます。諏訪の池では休暇村宿舎付近などでよく見られます。